生涯学習･社会教育関係職員研修講座【三八地区研修】

9月26日(月)13:30～15:50　階上町道仏交流センター　受講者24名

1　趣旨

生涯学習・社会教育関係職員及び関係団体職員等の資質向上のため、業務遂行に係る基礎的・実務的な研修を行うとともに、地域課題の把握と課題解決につながる実践的な知識・技能の習得と、人財育成を目的とした研修を行い、ネットワーク形成を図る。

2　内容

【講義】「誰ひとり取り残されない社会の仕組みづくり」
～こども食堂の取り組みを通して～
講師　認定特定非営利活動法人　インクルいわて
理事長　**山屋（やまや）　理恵（りえ）**　氏

山屋　理恵　氏

3　講義要旨

- ○　**「人生１００年時代」において、家族の形、若者の意識、男女の役割なども変化を見せています。まさに予測が困難な社会となっています。**
- ○　**その中で、子育てと貧困の問題はとりわけ支援が必要なものであることが、各種調査からも読み取れます。**
- ○　**子ども食堂への取り組みは、上記問題解決のための有効な手段のひとつと言えます。**

4　アンケート結果から

受講結果に満足	５０％	どちらかと言えば満足	４５．８％
どちらかと言えば不満	０％	不満	０％

（未記入があり、１００％になりません。）

（受講者の感想）

- 今まで、子どもの貧困のイメージがなかなか理解できなかったのが、やっとわかりました。社会がここまで変化してきているのですね。私達、高齢者もこの先どのように生きていけば良いのか・・・。
- 素晴らしい実践・・・感心しきりです。ただ、ご苦労も多いと思います。頑張ってください。私も何かできることを考えます。
- 子ども食堂が、ひとり親家庭のためだけではなく、地域づくりにつながること、ソーシャルキャピタル（社会的資本）の重要性に気づけました。
- 人生１００年時代への様々な問題から、それを解決しようとしている様々な子ども食堂の多様性や可能性に大変勉強になった。地域の実情に合わせたやり方を模索しながら、後の活動の参考にしていきたいと思います。
- 子ども食堂は、食事を提供するものかと思っていたが、本当の目的は地域の人との結びつきを大事にすることというのが分かって良かった。今後もこのような活動が大事だと思う。

講師　山屋氏の御講義は、各種調査及び実践に基づいた、説得力のあるものでした。今日的課題である「子育て支援の強化」「子どもの貧困問題」について、こども食堂の開設を通じて解決しようとする取り組みに、参加者から強い関心が寄せられていました。